

# 金山中相撲部 東北大会 出場!



▼1 勝負を決める庄司君▼  
2 投げにかかる長倉君▼3  
立ち合いで気持ちを見せる  
伊藤君▼4 齊木先生と出場  
メンバー▼5 大将の高橋君  
は格上相手にもひるまない

1

## 四半世紀ぶりの出場

山形県中学校総合体育大会相撲団体戦一部(全学年)において、金山中相撲部が3位入賞を果たし、東北大会に出場しました。これは平成3年以来、およそ四半世紀ぶりの快挙となります。

## 平均体重は52kg

部員は臨時として柔道部から、伊藤大悟くん(七戸町)、庄司倭くん(板橋)、高橋海人くん(魚清水)、長倉佑吾くん(荒屋)の4名を選出。金山中は出場校の中で、平均体重が最も軽量でしたが、自分より30kgも重い相手から勝ち星を得るなど、柔道で鍛えた力を発揮しました。大会前には、羽場地区の土俵で足元の感覚を確認。地元警察官や新庄神室産業高校相撲部との稽古も、体格の大きな相手にも勝利した要因のひとつでしょう。



2



3



4

## 気迫のこもった試合を

「他校の重量級の選手たちにとつやって挑んでいくか。自ら稽古をつけて教えてきた」と話すのは顧問の齊木先生。「相手がいくら大きくても、最初は勇気をもってぶつかっていく。一歩目で退いてしまったら絶対負ける」と取り組み時のポイントを力強く続けます。東北大会では、団体戦一部のほか、個人戦2年の部には、県大会3位の庄司君が出場。気持ちで負けていない気迫のこもった試合を見せてくれました。



5